

16 ミヤコムシオイ

(ムシオイガイ科)

兵庫県ランク:C

Chamalycaeus hirasei

環境省ランク:指定なし

種の概要

近畿、三重県、福井県、鳥取県に分布する。模式産地が京都であるため和名がミヤコ(都)となった。比較的乾燥した落葉下に生息している。殻長約2mm、殻径約5mmで偏平である。殻口の後方で殻管がくびれ、その縫合部に虫が這ったような呼吸管がある。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
				○			○

県内分布

洲本市、淡路市

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。日本海側では鳥取県、京都府では生息しているが、兵庫県側では生息が確認されていない。県内では淡路島北部、中部の数箇所を確認している。和歌山県、大阪府南部では多くの生息地があり、淡路島の種は対岸から自然移入したと考えられる。

保護上の留意点

生息地が比較的、低山地の里山等の林床にあるため、近年の里山の荒廃により生息地の減少が危惧されており、里山の保全が必要とされる。



【執筆者】 大原健司